

「生徒をまんなか」にした学校と家庭のより良い関係作りに向けた対応方針

3つの基本方針

- 1 学校と家庭は、生徒が意見や考えを表明する機会を大切にし、当事者である生徒の「どうなりた
いのか」「どうしたいのか」という思いをまんなかに置いて、「学び」と「育ち」を考える。
- 2 学校と家庭は、生徒に係る課題について、相互理解を深めるためコミュニケーションを密にする。
- 3 学校と家庭は、互いに尊重し合い、それぞれの役割を踏まえて連携・協働する。

教職員が日頃から心がけること

- 1 生徒の権利を尊重する視点と、傾聴・受容・共感の姿勢を基本に対応します。
- 2 事実及び根拠に基づき、分かりやすい言葉で、簡潔かつ丁寧に伝え、相互の認識に齟齬が生じな
いように心掛けます。
- 3 学校内で情報を共有し的確に対応するため、記録の徹底と報告・連絡・相談を励行します。
- 4 一人で問題を抱え込まず、チーム学校の一員として対応します。
- 5 社会通念に則った行動を行うように意識し、勤務時間中はもとより、勤務時間外であっても、
自らの行動を律します。

御協力をお願いします

「生徒の安心・安全の確保」と「教育活動の質の向上」に向けて、次の取組への御協力をお願いします。

- スマホ等のデジタル端末の利活用について、それぞれの御家庭でお子様の発達段階（言語・コミュニ
ケーション能力、対人関係構築スキル等）に応じ、保護者の責任の下、事件・トラブルの被害者にも
加害者にもならないよう、適切に使わせてください。
- 欠席・遅刻・早退についての連絡は「[さくら連絡網](#)」にてお願いします。朝の時間は、職員が打合
せ・生徒の登校指導等の関係から、緊急な場合を除いてはお控えください。
- **19時00分～7時00分（長期休業中16時25分～7時55分）**の電話は自動音声メッセージでの対
応となります。